



## ひえの無農薬水田移植栽培技術

ひえ「達磨」(盛岡市厨川在来)は短稈で脱粒性難のため機械適応性が高く、水田移植栽培できることを確認した。作業体系はほぼ水稲と同様で、播種量 20g/箱(乾籾) 育苗期間 20~25 日、収量は 390kg/10a(全刈り収量)であった。

### ひえ「達磨」栽培の作業体系(管理は水稲に準ずる)

#### 播種~育苗

- ・用土：人工培土を使用する(山土は使わない)
- ・播種量：20g/箱(乾籾、風選済み)  
種子消毒、浸種、催芽は不要
- ・箱数：23箱/10a(水稲用育苗箱)、遮根シート使用



- ・出芽法：加温(30、40時間)または無加温、出芽長 0.5cm  
出芽長が長すぎると苗転びや移植時の苗切断の原因となる
- ・緑化(1.5日) 硬化後は水稲苗より低温管理とし軟弱徒長を防ぐ
- ・育苗法：ハウス平置きまたはプール育苗(水稲プール育苗に準ずる)
- ・育苗日数：20~25日(2.5~3.0葉)  
ハウスサイドは霜の恐れがある場合を除き昼夜解放する

#### 中間管理

- ・除草：除草機(動力、人力)により移植1か月後頃に1~2回行う
- ・病虫害：通常は問題にならない(メイチュウ類の発生事例がある)
- ・鳥害：出穂期以降、防鳥ネット、爆音機等を設置する

#### 収穫

- ・自脱型コンバインの場合は、刈高をやや高く(15~30cm)する

#### 乾燥~調製

- ・乾燥：循環型穀物乾燥機(風洞部を1mm網に交換する)
- ・風選(とうみ選)：水稲より風量を弱くする
- ・籾摺り：籾摺機(子実をよく乾燥させる~穀粒水分12%)
- ・精米：精米機(除糠網および研米ロールを雑穀用に交換する)

#### 移植

- ・施肥量：N4-P20-K10(kg/10a)  
堆肥 1000(kg/10a)
- ・マット形成が極端に劣ると、苗補給時にマットがつぶれて移植爪でかき取れない  
軟弱苗、老化苗は植痛みが著しい



田植機での移植の様子



動力付き除草機



自脱型コンバインでの収穫作業